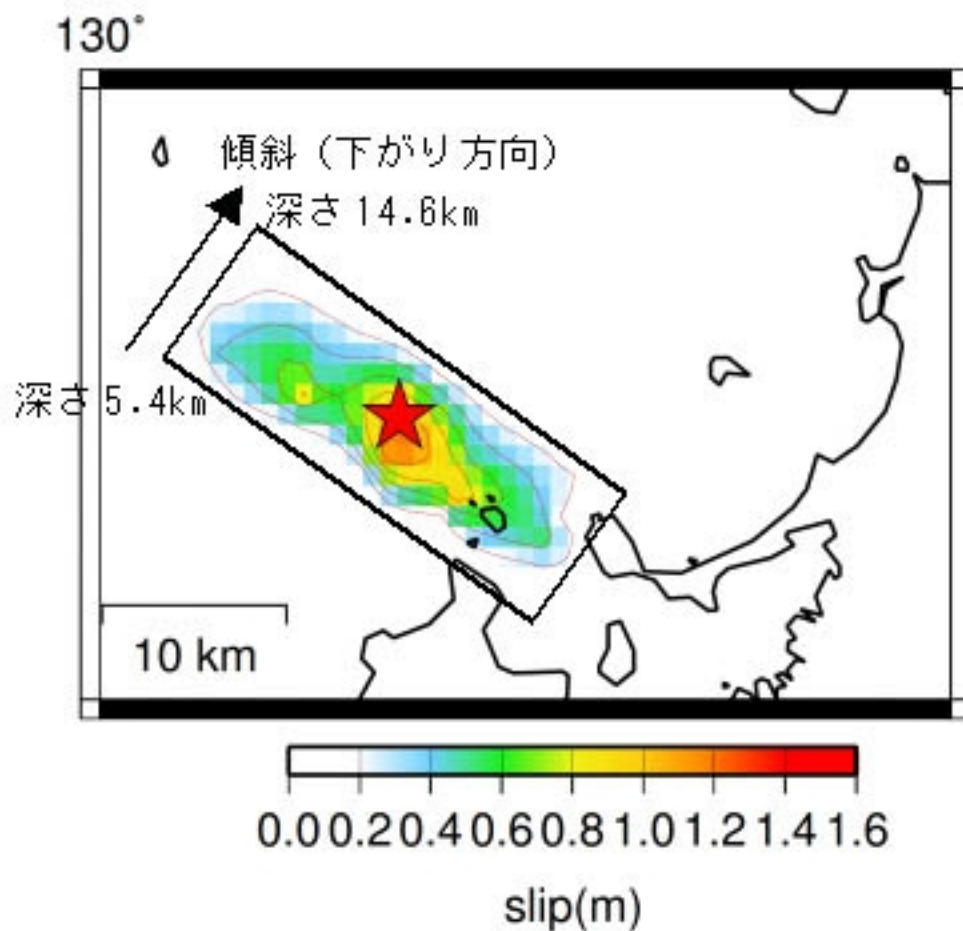


3月20日 福岡県西方沖の地震の震源過程

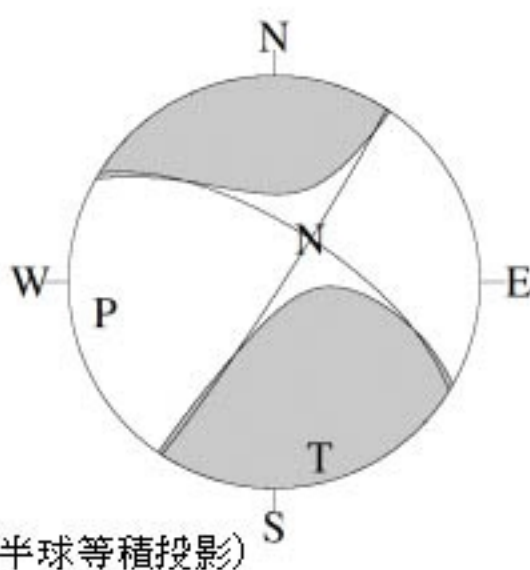
2005年3月20日10時53分に、福岡県西方沖で発生した地震(M=7.0)について、IRIS-DMCより広帯域地震計記録を取得し、遠地実体波の解析(*1)を行った。仮定した断層面は、気象庁CMT解の北西-南東方向の走向の断層面(走向302度、傾斜角68度)で、深さは10km。

すべり量分布と仮定した断層面



★は震央位置

気象庁CMT解



モーメント $M_0=1.30 \times 10^{19}(\text{N} \cdot \text{m})$
モーメントマグニチュード $M_w=6.7$

断層面 1	断層面 2
走向 302 度	33 度
傾斜角 68 度	87 度
すべり角 -3 度	-158 度

*1 解析に使用したプログラム M.Kikuchi and H.Kanamori, Note on Teleseismic Body Wave Inversion Program, <http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/ETAL/KIKUCHI/>